

現地建物被害調査（アンケート調査）

調査期間 平成24年10月29日～25年2月15日

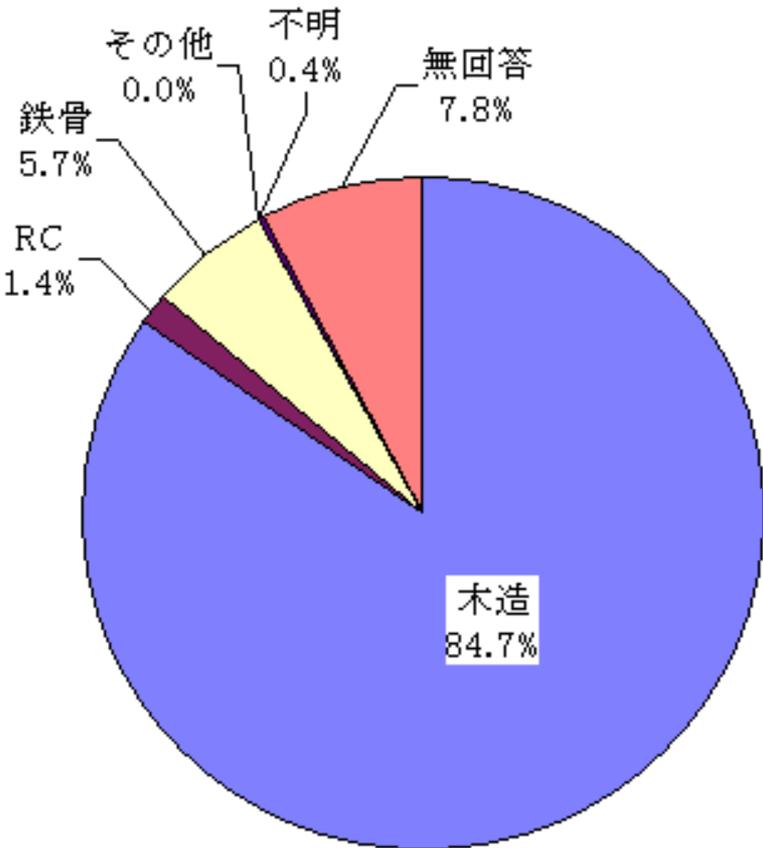
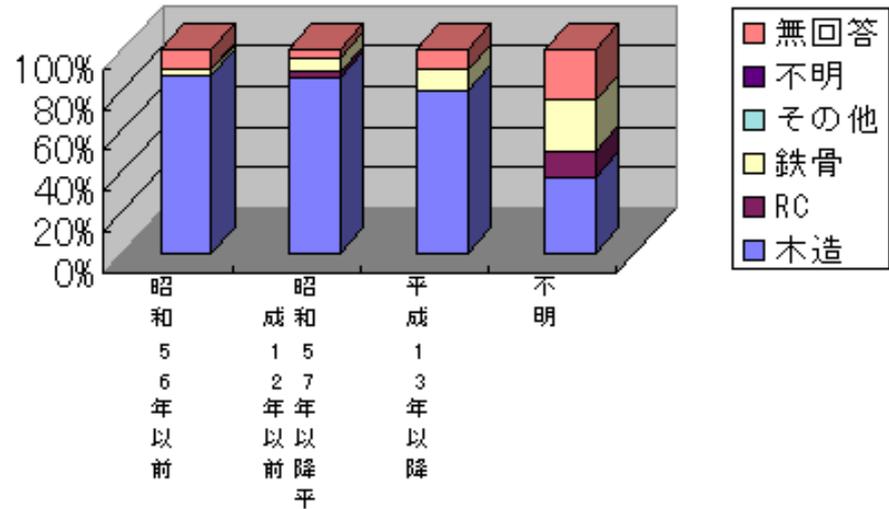
調査客体 281人（聞き取りによる調査）

（内訳 佐原116、小見川48、利根川以北101、府馬16）

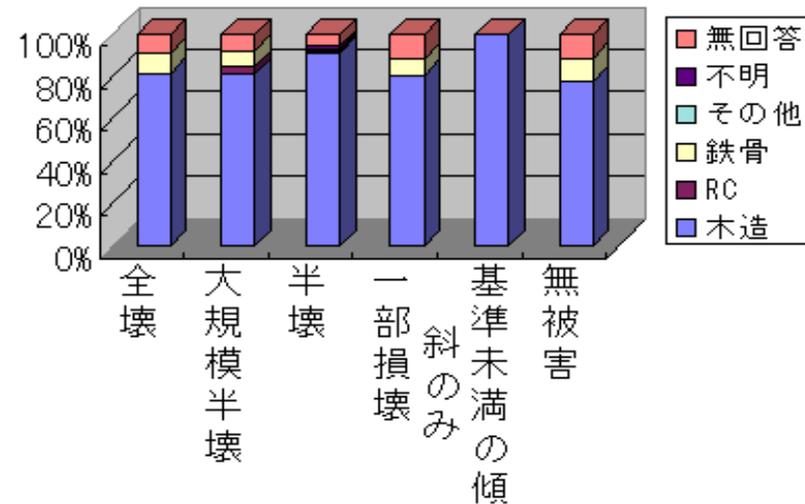
調査項目	内容等	
建物の構造	木造、RC、鉄骨	
基礎の構造	布基礎、ベタ基礎、独立基礎、杭基礎	
被災原因	直接損壊、液状化、地すべり	
被災レベル	全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊	
噴砂の発生	有（本震）、有（余震）、無	
家屋の建築年代	建築年（ 年 月）	
宅地の造成状況（覆土又は盛土）	有（高さ m）、無	
被災前の不同沈下	有、無	
建物建設時	基礎杭	有（長さ m）、無
	地盤改良	有、無
	液状化対策	有、無
被災後の補修	建物傾斜	済（工法 ）、未実施
	基礎	済（工法 ）、未実施
	地盤対策	済（工法 ）、未実施
液状化対策事業	理解度	知っている、知らない、どちらともいえない
	実施要望	強く望む、望む、どちらともいえない、不要
	個人負担可能額	1000万円超、999～500万円、499～300万円、299～100万円、100万円以下、その他
	要望事項	対策方法の情報提供、施工業者の情報提供、その他

建物の構造

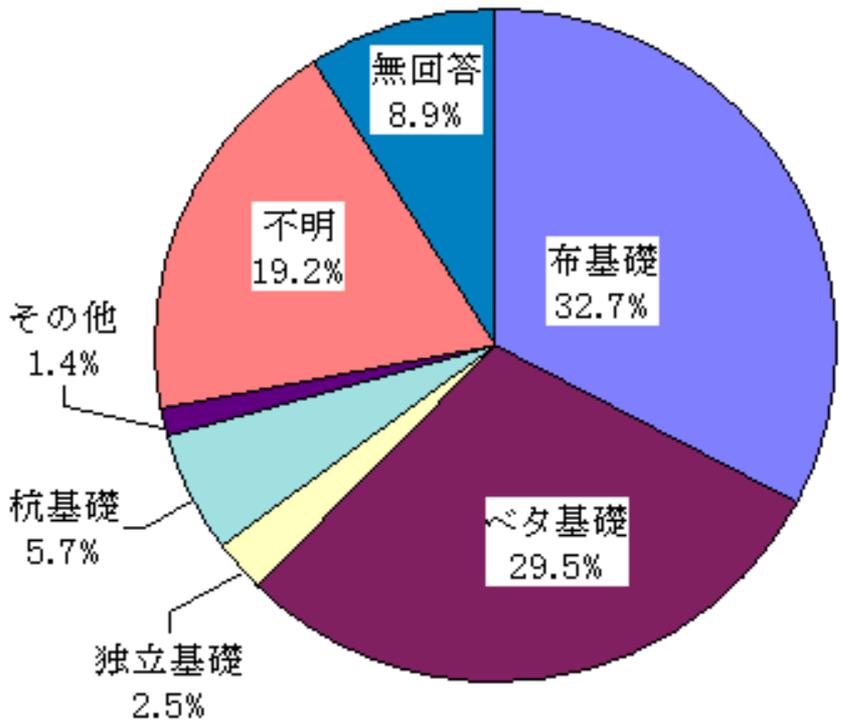
建築年別



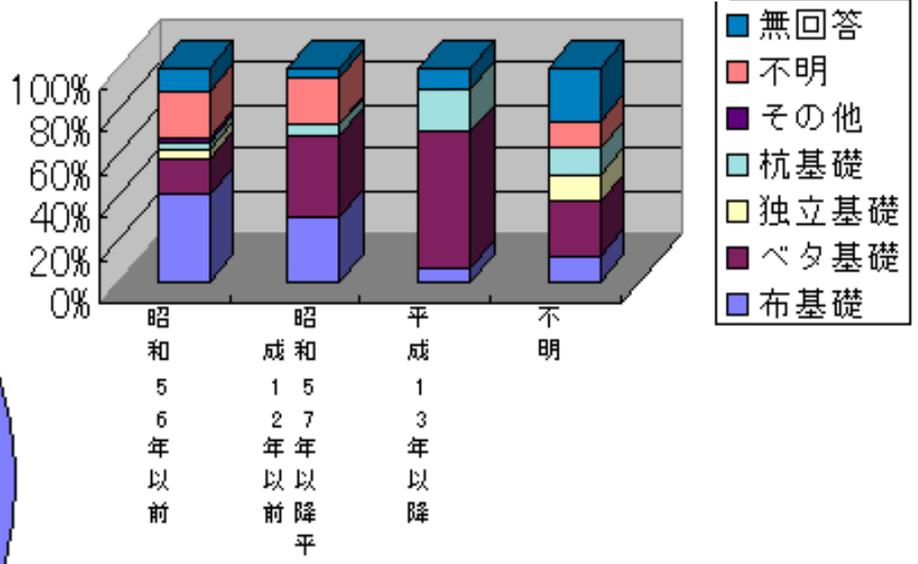
被災レベル別



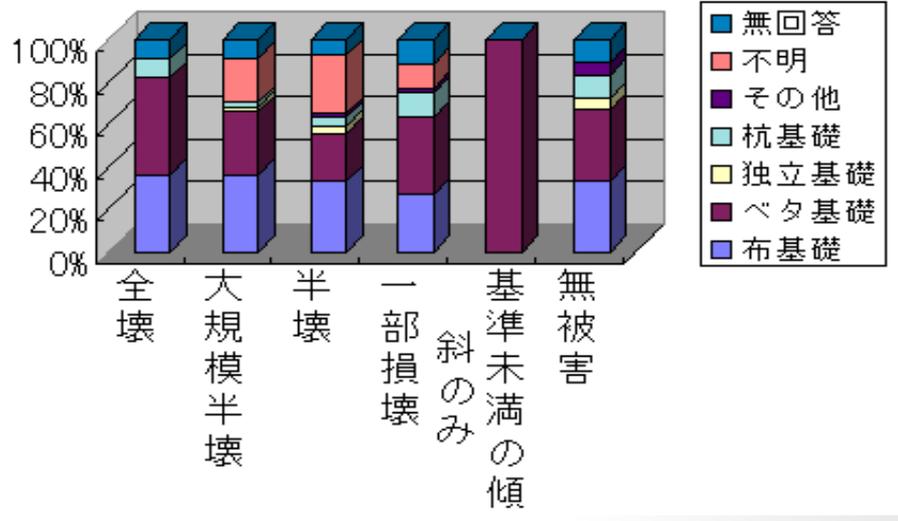
基礎の構造



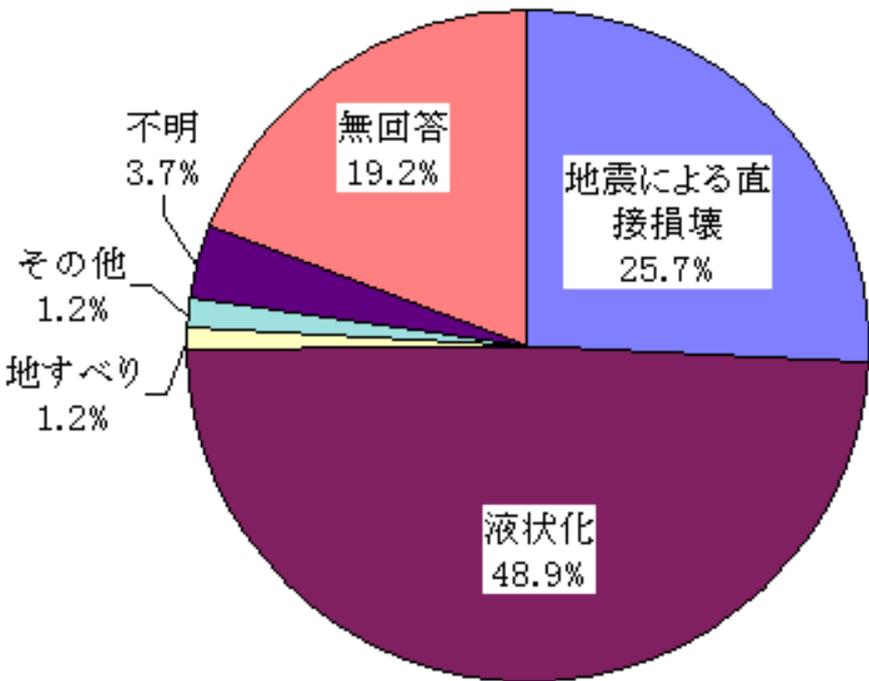
建築年別



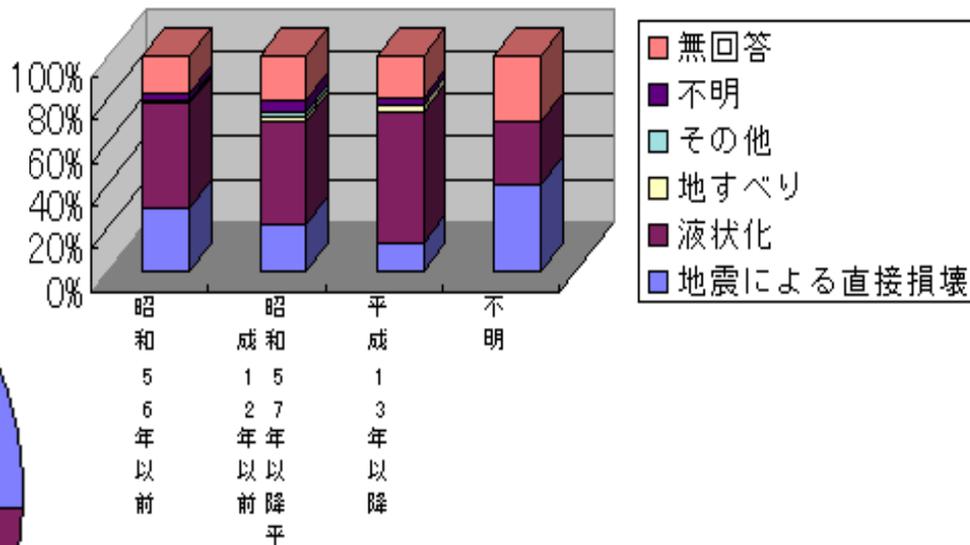
被災レベル別



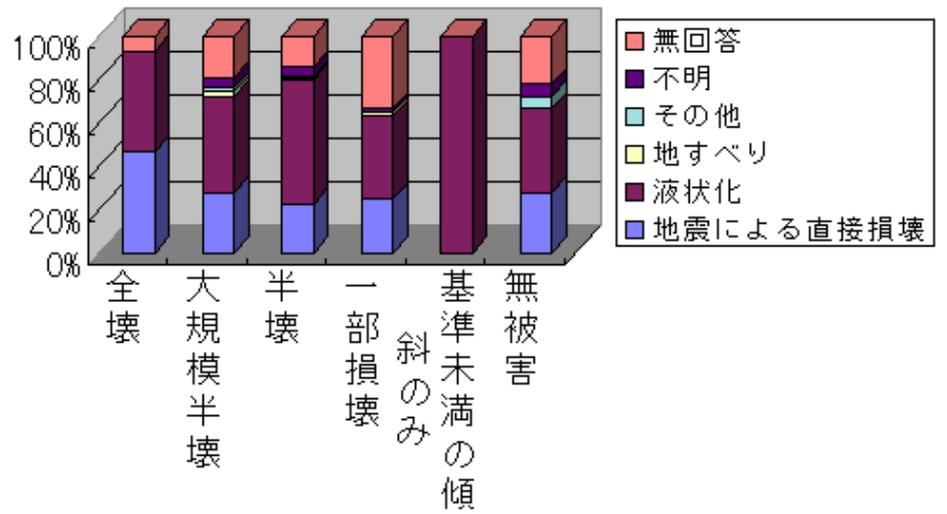
被災原因



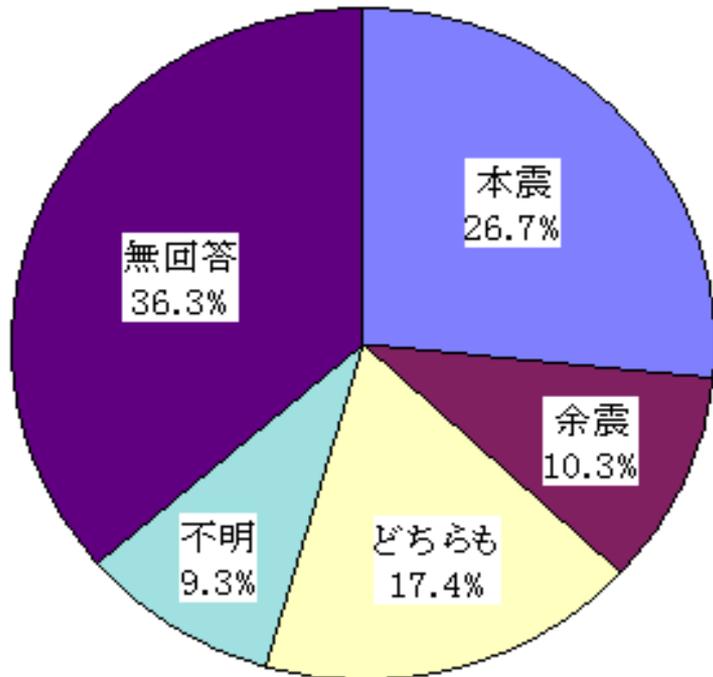
建築年別



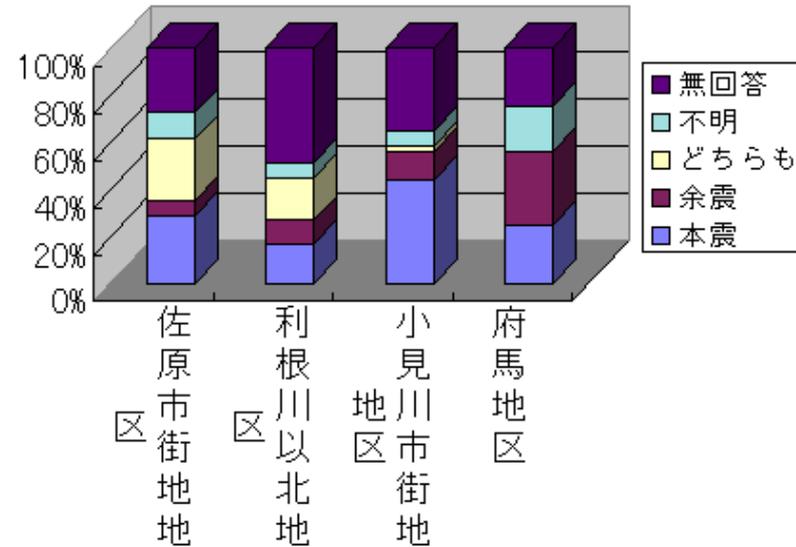
被災レベル別



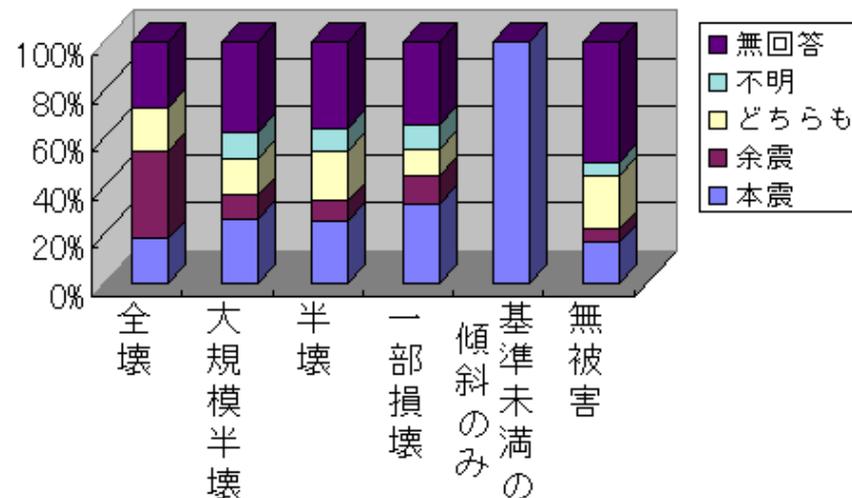
噴砂の発生



地区別

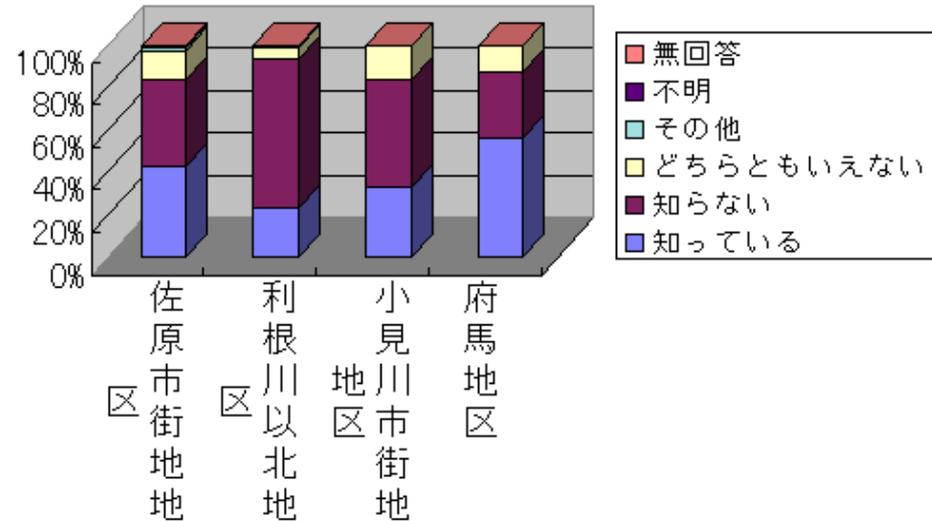
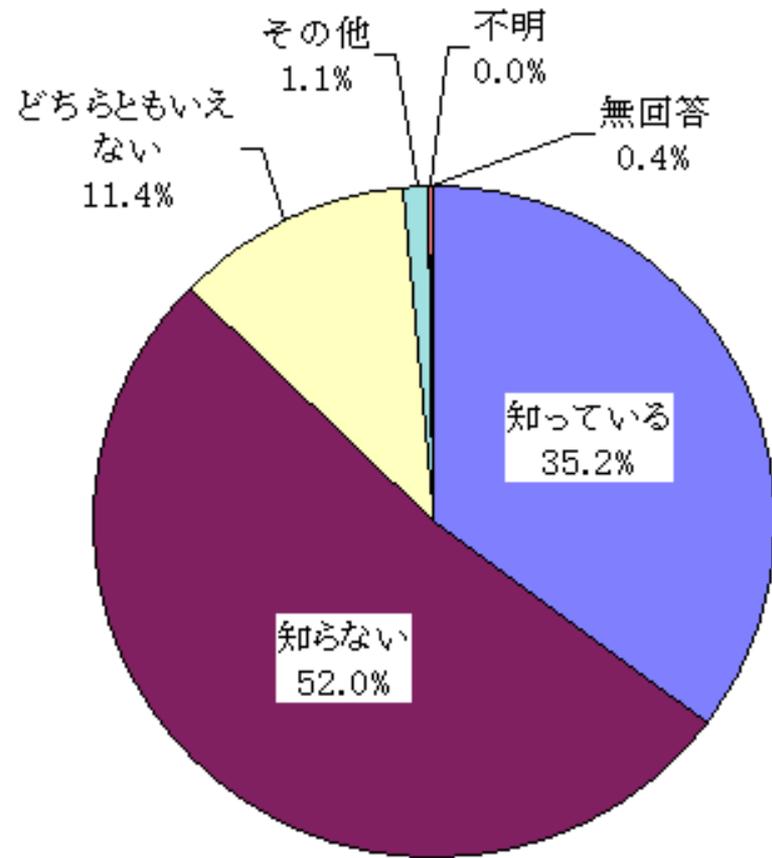


被災レベル別

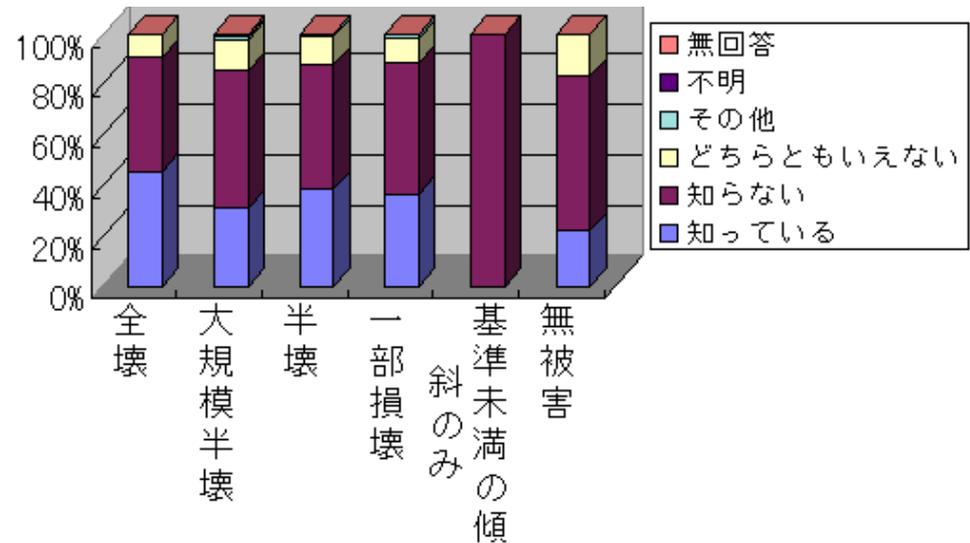


液状化対策事業の理解度

地区別

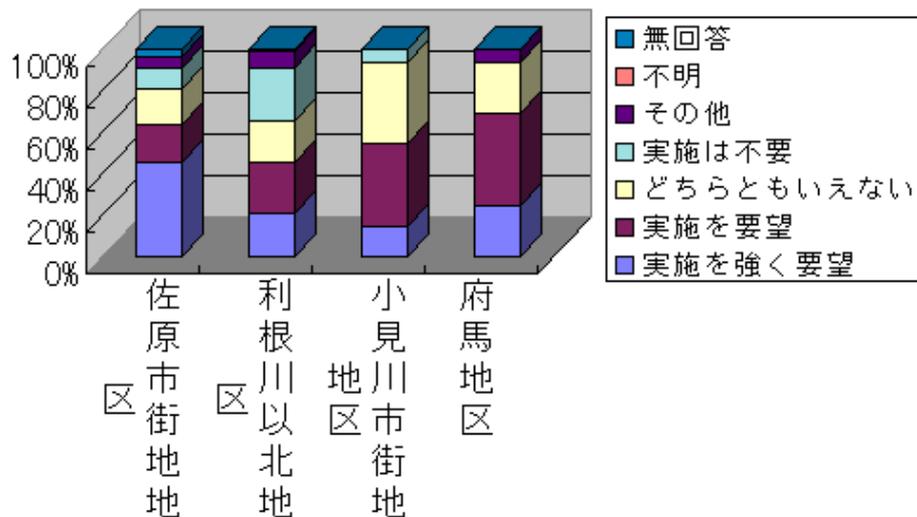
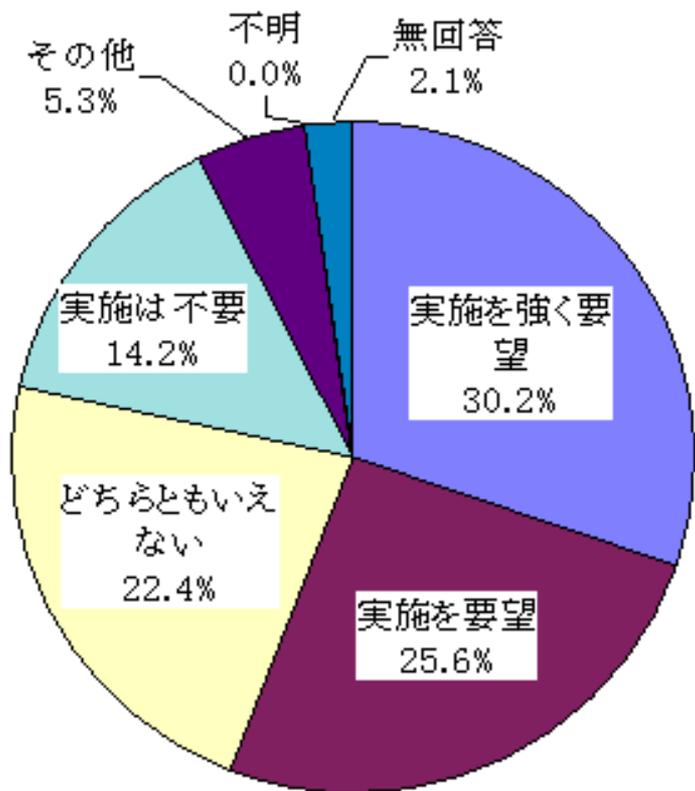


被災レベル別

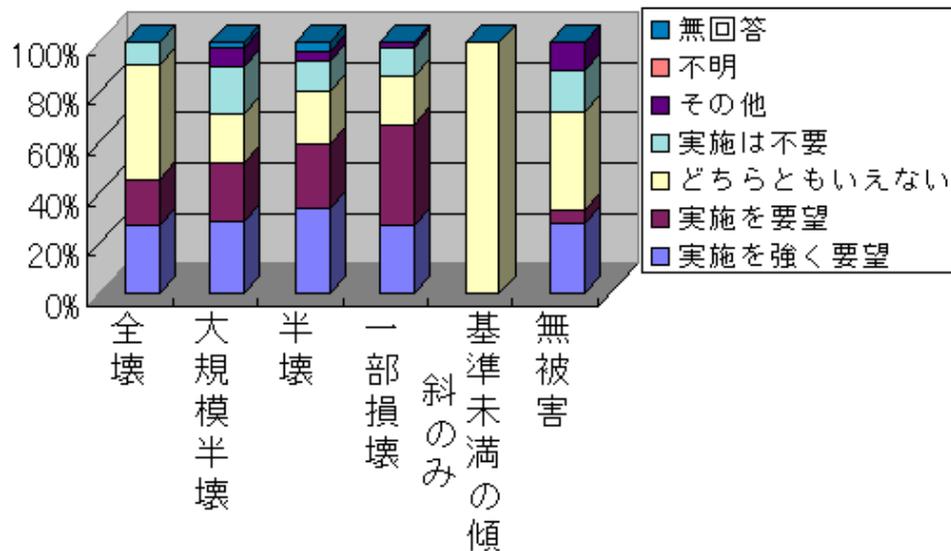


液状化対策事業の実施要望

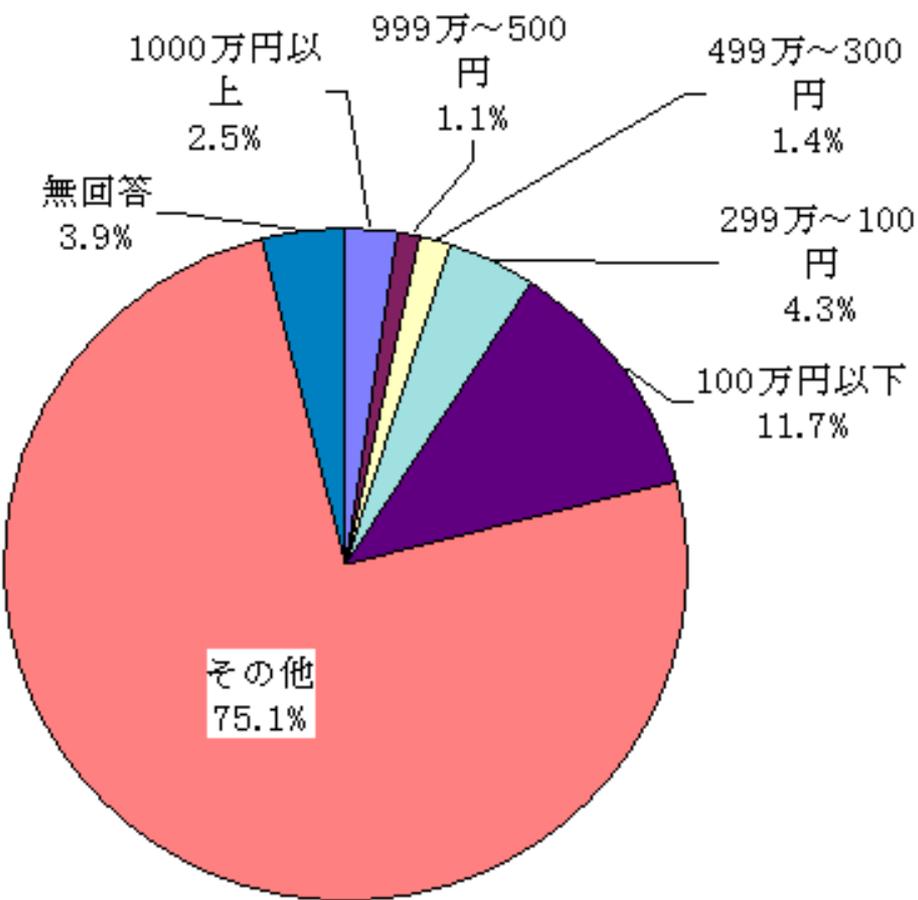
地区別



被災レベル別

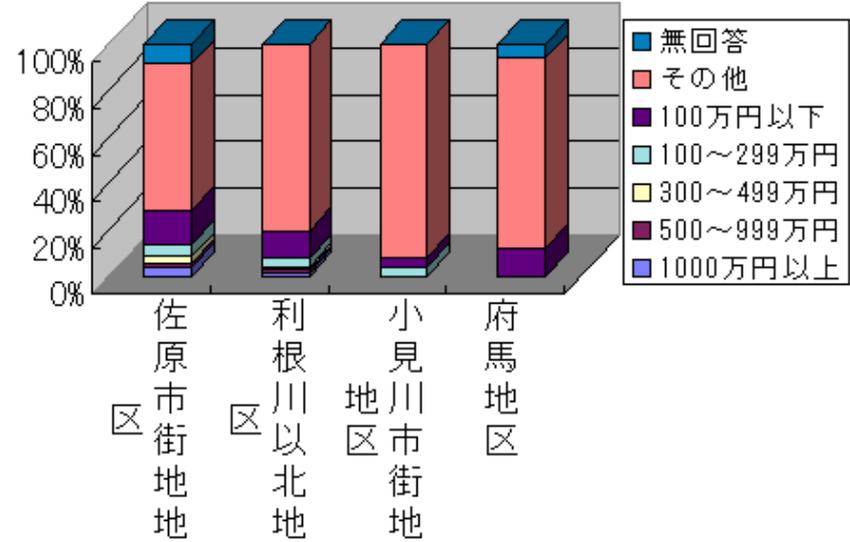


個人負担可能額

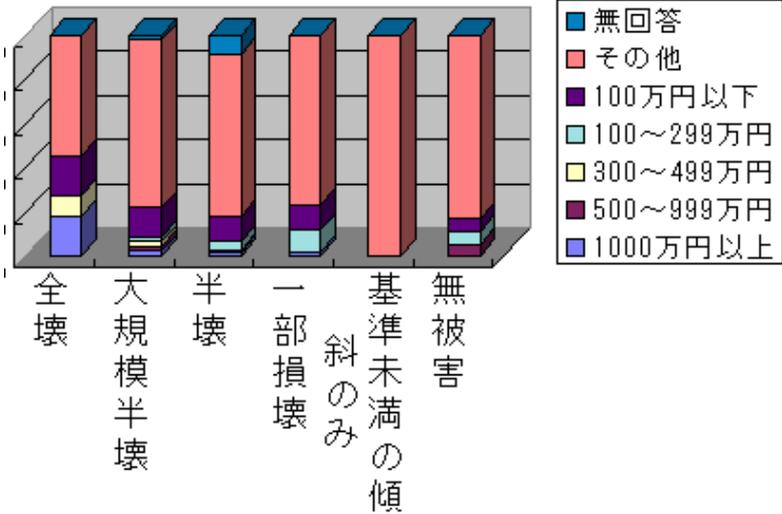


「その他」の回答の多くは負担できない (0万円)

地区別



被災レベル別



香取市における復興交付金を活用した液状化対策事業

今後の検討スケジュール

	項目	平成24年度										平成25年度						平成26年度	平成27年度
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
液状化対策検討調査	①全体計画の策定	■	■																
	②地区の情報整理		■	■	■	■	■												
	③ボーリング調査								■	■	■								
	④液状化の検証					■	■	■	■	■									
	⑤再液状化の診断								■	■	■	■							
	⑥モデル地区の選定										■	■	■						
	⑦液状化対策工法検討												■	■	■	■	■		
液状化対策事業																		▶	

モデル地区における検討

◆検討対象 4 区域毎に各 1 箇所モデル地区を選定。

- ・ 地域によって地盤性状が異なるため、効果的な液状化対策にも違いがある。

◆仮にモデル地区で液状化対策を実施する場合

- ・ どの工法が適しているか。
- ・ 工事費用（個人負担）はどのくらいか。

モデル地区において事業計画（案）を作成。



液状化対策工事に同意か否か
地権者等の判断材料



モデル地区のイメージ

END

ありがとうございました。